

グローバル教育教材 「外国語学習トランプ」のねらいと使い方紹介

制作

特定非営利活動法人 全国国際教育協会

このトランプは、世界の12か国語による様々な表現を紹介した外国語学習カード教材です。遊びながら外国語に触れることで、外国語をより身近なものとして感じ、それによるコミュニケーションを通じて、人と人との相互理解を広げ、グローバル社会を生きるスキルを育むことを目的としています。

1. 掲載されている外国語：英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・ヒンディー語・ロシア語・韓国語・アラビア語・スワヒリ語・フランス語・ドイツ語・オランダ語で、先進国だけでなく開発途上国の言語もいれてあります。また、スペード（英語・スペイン語・ポルトガル語）、ハート（韓国語・アラビア語・スワヒリ語）、クラブ（フランス語・ドイツ語・オランダ語）、ダイヤ（中国語・ヒンディー語・ロシア語）の言語グループとなっています。



2. 活用事例

<ワークショップ1：> 初めての人とのアイスブレーキングとして使う。

- ・男女（男女比率が足りなければ同性でもかまわない）2人一組になってもらいます。
- ・一組にトランプを1セットずつ渡します。
- ・54枚のカード（表紙とNPO紹介カードの2枚は除く）をよく切り、裏向きに置く
- ・2人で先攻、後攻をジャンケンで決めます。
- ・先攻の人はカードを1枚ひきます（相手に見せない）。
- ・先攻の人はカードの3言語の中で、ひとつだけ選んで、相手に「△□○語です。○×◇□・・・。」と例文を読みます（できるだけ感情を込めて、ジェスチャーも交えて）。
 - 相手は、その外国語を復唱し、「○×◇□は・・・という意味です。」と答えます。
 - 正解なら相手がカードをもらう。はずれなら先攻の人がカードを預かります。
- ・先攻・後攻で5回ほどくりかえし、最終的にカードをたくさんもっていたほうが勝ちです。



<ワークショップ2：> コミュニケーションスキルを体験する。

- ・男女4人一组（男女比率が違ってかまわない）になってもらいます。
- ・一組にトランプを1セットずつ渡します
- ・54枚のカード（表紙とNPO紹介カードの2枚は除く）をスペード、ハート、クラブ、ダイヤの山に分けます。裏返しの4つの山（それぞれ13枚）を作りそれをどれがどの山かわからなくなるように動かしてから、ジャンケンで勝った人から、順番に山をとっていきます。
- ・5分間程度考える時間をとります。発表の順番は山をとった順番にします。
- ・それぞれに分配されたカードの中から、何語かを選択し、何語かを宣言したあとに何枚かをつなげて、他の人たちに話します、内容は自己紹介でも、それ以外でも、なんでもかまいません。
→「△□○語で話します。○×◇□・・・・・・」と始めてください。
このときに、発表者はできるかぎり感情を込めて、ジェスチャーも交えて発表すること。
- ・その人の発表が終わったら、聞いていた3人は、話した意味を推測してあてます。
- ・最後に、発表者が自分の言いたかったことを日本語で説明します。
- ・これを4人続けてみて、話した内容がどの程度他の人に伝わったか、意見交換します。
- ・一人が3カ国語を持っていますので、時間があれば2回、3回と繰り返すこともできます。



これらのワークショップでは、外国語を知らなくても、相手に伝えたいと思う気持ちやボディランゲージなど伝える側の努力と、聞く側の理解しようとする相互理解の気持ちがあると、コミュニケーションもそれなりにできることを感じることができます。

結果的にコミュニケーションスキルの体験となり、さらに外国語に対して興味を喚起し、さらに学習しようとする意欲もうまれ、グローバル市民として世界と共に歩む人を育てることをねらいとします。

全国国際教育協会は「グローバル教育」を推進します。「グローバル教育」とは地球市民として、世界の中で自分と全く違った価値観を持った人達とも、違いを認識しつつ相手を尊重しながらコミュニケーションを深め、問題解決を行える人を育てるための教育です。



特定非営利活動法人 全国国際教育協会

URL <http://www.kokusaiken.org/npo/index.htm>